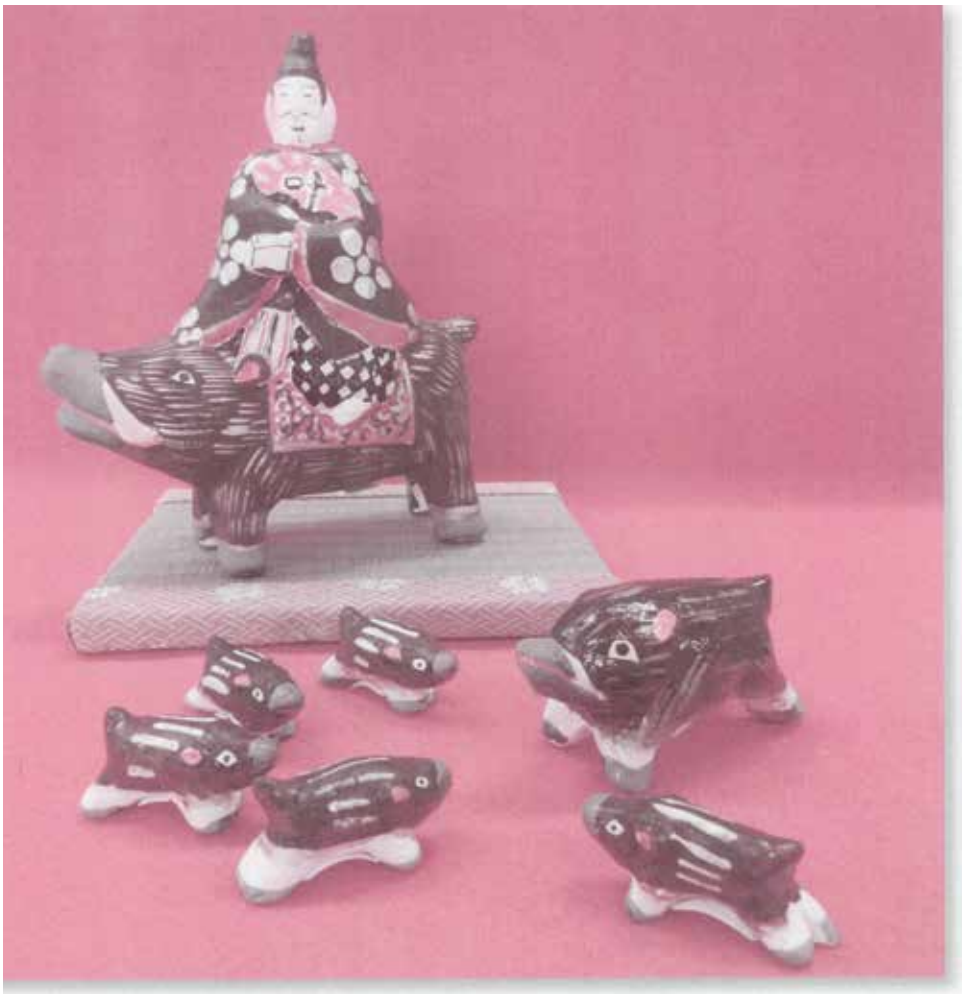
# なかの 市議会だより

1月号
2019年（平成31年）
1月5日発行
No.55

発行　長野県中野市議会　　編集　中野市議会だより編集委員会
●ホームページ　http://www.city.nakano.nagano.jp/　●Eメール　gikai@city.nakano.nagano.jp



謹賀新年
亥年

奈良家の土人形「亥乗り天神」と「猪」

## 12月定例会

開会　11月30日
閉会　12月14日
会期　15日間

●議案等件数及び議決内容

| | | |
|---|---|---|
| 条例案 | 7件 | 可決 |
| 予算案 | 10件 | 可決 |
| 事件案 | 19件 | 可決 |
| 人事案 | 1件 | 同意 |
| | 1件 | 適任 |
| 意見書案 | 2件 | 可決 |
| | 1件 | 修正可決 |
| 陳情 | 1件 | 採択 |

●市政一般質問　48件

# 新年のごあいさつ

中野市議会議長　**原　澤　年　秋**

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、昨年5月に中野市議会議員一般選挙を経て、第五代中野市議会が誕生いたしました。議員一同、この人口減少時代に対応した活力ある、持続可能な都市を目指してまちづくりを進めるとともに、二元代表制の一翼を担う責務を全うし、市民の皆様のご期待に応えられるよう努力してまいる所存であります。

振り返りますと、昨年は夏季においてこれまでにない猛暑となり、市議会では子どもたち等の健康被害などを危惧し、学校等へのエアコンの設置について計画的に進めることなどを市に対して要望いたしました。

このことにつきましては、早期実施に向けた補正予算を編成するなど市に理解ある対応をしていただきましたが、今後も市民益となる事柄については積極的に活動して参りたいと考えております。

現在、市では「中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「第2次中野市総合計画」に基づき、時代に即した活力ある地域社会・地域経済を構築し、市民の皆様が安心して暮らせるまちの創造に取り組んでいます。

そうした中で、「信州なかのバラまつり」や「信州中野おごっそフェア」などの本市の魅力を広く知っていただくためのイベントの支援や、本市の基幹産業である農業のブランド化、農畜産物の消費拡大を推進するための物産展「信州中野フェア」の開催をはじめ、県外各地のイベントへの参加は、地域の活性化また情報発信として大変重要な取り組みであると考え、引き続き議会としても必要な支援をして参ります。

新庁舎が開庁し、1年を迎えようとしています。議場も新しくなり、傍聴席には、車椅子スペースを確保し、音声の聞き取りづらい方には専用の補聴器の貸し出しを行っています。本会議は、自由に傍聴いただくことができますし、市政を知る良い機会でありますので、市民の皆様には、是非傍聴にお出かけいただきますようにお願い申し上げます。

新春にあたり、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心より祈念申し上げ、新年にあたってのごあいさつといたします。

# 中野市の魅力度向上について

中　村　秀　人

**質問**　市外から訪れた方に対する農産物のPR状況は。

**答弁**　農産物の購入先や調理方法、飲食できる店を紹介している。また、フェイスブックを活用して農産物の情報発信や新商品の紹介イベント等をPRしている。

**質問**　地元産農産物を活用した新たな取り組みは。

**答弁**　信州なかのシンボルマーク活用事業者が、農業体験と食文化の融合を図り誘客につなげるイベントを企画している。市では事業者が積極的に活動できるよう支援していく。

**質問**　多くの方に来館していただける居心地の良い図書館づくりをしては。

**答弁**　今年度から、ゆっくり落ち着いて本の閲覧や学習ができるように水筒やペットボトルなどの持ち込みを可能とし、また、飲食コーナーの利用時間の延長等を行った。今後は託児サービスやソファの入れ替えを検討する。

## 新市民会館について

**質問**　新市民会館建設の検討状況は。

**答弁**　平成27年11月に策定した「旧中野高校跡地利活用計画」に基づき、旧中野高校跡地を建設予定地としている。現在、庁内にて課題の整理、基本的な方針の検討を行っており、今後、市民の皆様にご意見をお聞きする機会を設けていく。

## 間山温泉公園ぽんぽこの湯について

**質問**　間山温泉公園ぽんぽこの湯の利用状況と経営改善等の検討状況は。

**答弁**　平成5年4月のオープンから25年が経過した。近隣にも日帰り温泉施設がいくつか建設された影響も

あり、利用者数は減少している。大広間の有効活用や食堂メニューの追加、イベントを開催するなど利用者増加に向け指定管理者と連携していく。

**きのこ使用済み培地の資源化について**

**質問**　使用済み培地の資源化の状況とバイオマス産業都市構想の取組状況は。

**答弁**　使用済み培地は、各培養センターで飼料化、堆肥化などに取り組まれ有効に活用されている。同計画は、平成27年に策定し国に提出したが選定されなかった経過がある。今年度実施しているバイオガスによる発電システムや熱利用の取り組みを反映させた新たな構想を策定する予定である。

**伝統芸能の振興について**

**質問**　大きなイベント開催時にあわせ獅子舞フェスティバルを開催しては。

**答弁**　今後、イベントを開催する協議会等に獅子舞フェスティバルの開催要望があることをお伝えする。

その他の質問

**災害時の対応について**

**小中学校等へのエアコンの設置について**

阿部光則

**質問**　本定例会に小中学校へのエアコン設置に関する補正予算案が提出されている。どのように設置を進めるのか。

**答弁**　国が新たに創設した交付金を活用し、来年6月までに全小中学校の普通教室等にエアコン306台を設置する予定である。

**質問**　保育所および放課後児童クラブへのエアコン設置の進め方は。

**答弁**　保育所は設備がない4歳児、5歳児および特別保育室に、放課後児童クラブは4施設に、それぞれ今年度末までに設置する予定である。

**質問**　設置工事については、地域経済の振興に資する発注方法で行うべきでは。

**答弁**　保育所等は市内業者による競争入札を行い、小中学校は設置後のメンテナンス等を考慮し、市内業者への発注を考えている。

**質問**　国の防災に関する事業債を活用し、指定避難所になっている学校体育館へエアコンを設置しては。

**答弁**　学校運営上の必要性や費用を含め研究していく。

**教育行政について**

**質問**　学校図書館をどのような施設と考えているか。

**答弁**　児童・生徒にとって、学びの充実や読書の楽しさを味わい、豊かな心を育てるための大変重要な場所であると考えている。

**質問**　司書教諭等の配置状況は。

**答弁**　法令の定めにより12学級以上の小中学校に司書教諭を配置している。その他の学校においては、図書館運営を担当する教諭が専任されている。

**質問**　学校司書等の今後のあり方は。

**答弁**　現在、司書教諭等と連携し図書館の管理や整備をする事務補助員を雇用している。来年度からは、可能な限り司書資格を持つ方に事務を委託する予定である。

**質問**　全国的な広がりを見せる学校給食の無料化をどう考えるか。

**答弁**　無料化や助成については、財政的なこともあり現在は考えていない。

**市の補助金及び受益者負担金について**

**質問**　各種補助金等の削減に異論が聞こえてくるが。

**答弁**　透明性および公平性の確保の観点から作成した補助金執行に関する指針に基づき適正な執行を行う。

**質問**　受益者負担金の徴収方針は。

**答弁**　統一的なルールを定めた指針を策定する予定である。

その他の質問

**国民健康保険について**

**介護保険制度について**

## 児童虐待防止に向けた取り組みについて

宇塚千晶

**質問**　児童虐待に関する相談件数およびその内容等は。

**答弁**　昨年度の相談件数は520件である。内容はネグレクトが57％、心理的虐待が24％、身体的虐待が19％であった。

**質問**　虐待を受けている児童の転入・転出の際の情報共有の状況は。

**答弁**　支援が途切れることのないよう支援経過を引き継ぐなど、市町村間で連携し対応している。

**質問**　要保護児童、要支援児童およびその保護者等への支援状況は。

**答弁**　児童や家庭の状況を把握するとともに相談関係を構築し、必要に応じてカウンセラーとの面談を行うなど、問題解決に向けて支援をしている。

### 循環型社会の推進について

**質問**　近年、自然界全体のプラスチック汚染が深刻である。プラスチック減量化のため事業所等と連携の上、マイボトルを持参し商品を購入した方にポイントを付与し、地域通貨や商品と交換できる制度を導入しては。

**答弁**　プラスチック製容器包装は、分別収集をし資源化を実施している。国が策定を進めているプラスチック資源循環戦略や環境活動にポイントを付与する制度を導入している先進自治体等を参考にして、プラスチックごみの減量化に努める。

**質問**　学校給食センターの昨年度の残さの発生量は。

**答弁**　学校給食センター3施設における総量は7千390kgである。

**質問**　生ごみの堆肥化等への取組状況は。

**答弁**　今後、堆肥およびバイオマスエネルギー原料等への利用を研究する。

（注）
**ネグレクト**
児童、障がい者、高齢者に対する虐待行為の一つ。
児童虐待においては、食事を与えない、病気やけがの治療を受けさせない、乳児が泣いていても無視するなど養育者が適切な養育を放棄する行為のこと。

## ネーミングライツについて

塚田一夫

**質問**　２００３年に日本に初めて導入されて以降、全国でスポーツ施設をはじめ、あらゆる公共施設にネーミングライツが広まっている。本市におけるこれまでの検討状況は。

**答弁**　平成21年度に所管する部署で検討をしているが、導入に向けた具体的な取り組みまでには至らなかった。

**質問**　中野市営野球場は、信濃グランセローズのホーム球場でもあり、マスコミへの露出も増えている。企業側にもネーミングライツのメリットがある施設と考えるが、今後の取り組みは。

**答弁**　今後、益々厳しさを増す市財政において、ネーミングライツによる歳入の確保は、健全財政を堅持していく上で重要な取り組みであり、来年度には市営野球場の照明設備の改修計画もあることから、対象となる公共施設も含め、今後、検討を再開したい。

### ふるさと寄附金等について

**質問**　制度開始後10年が経過したが、寄附金額および個人市民税の寄附金税額控除額はどう推移しているか。

**答弁**　制度開始後7年目から自治体間の返礼品競争が始まり、本市を含め全国的に件数および寄附金額が急増した。総務省から返礼品に関する通達があり、高額化は是正されつつあるが、全国的に寄附金額は増加傾向にある。本市における個人市民税の寄附金税額控除額も毎年伸び続けている。↖

（注）
**ネーミングライツ**
公共施設等に名称を付ける命名権のこと。
アメリカで１９９０年代後半以降、急速に広まり、スポーツ施設、文化施設等の名称に企業名を付けることがビジネスとして確立した。
日本では、２００３年に東京スタジアムにネーミングライツが導入されたのが初の事例と言われている。

**質問**　寄附金額の受け入れに対する経費割合は。
**答弁**　昨年度は1億9千340万円余りの寄附金に対し、経費は8千670万円余りで、割合は44・8％であった。
**質問**　益々増加傾向にあるふるさと寄附金は、本市でも財政面を考えると積極的な事業展開を推し進めるべきと考えるが、今後の取り組みは。
**答弁**　ポータルサイトおよび公式ホームページの充実を図り、また、季節に応じた目玉商品を用意するなど一層のPRに務める。

## 電気自動車充電スポットの設置について

**質問**　環境問題に対する取り組み姿勢をアピールするためにも、市庁舎等に充電スポットを設置しては。
**答弁**　本市を訪れる方々の利便性を考慮し、高速道路出入口の信州中野観光センターおよび道の駅ふるさと豊田に設置している。市内には、民間事業者による多数の充電スポットがあるため、現在は市庁舎等への設置は考えていない。今後は電気自動車の普及状況等を踏まえ研究していく。

（注）
**ポータルサイト**
ホームページ等へアクセスするための情報検索システムをはじめ、ニュースなどの様々なリンクが設置されているWEBサイトのこと。

## 保育所通園時の安全対策について

永沢清生

**質問**　通園バスにシートベルトを設置するなどして、一層の安全確保を図るべきではないか。
**答弁**　通園バスの園児が座る座席は、事故の際、園児の安全を確保し、同乗する保育士が園児を速やかに降車させることを目的としたものとなっており、シートベルトを必要としない。
**質問**　通園バスの乗降場所は道路上ではなく、安全な場所を確保するべきでは。
**答弁**　毎年度、通園バス運行計画を作成しており、保護者の自宅の位置などに配慮しながら、乗降場所を決定している。運行に当たっては、一層の安全対策を図っていく。

## 防災教育等について

**質問**　小学校統合後の空き校舎は、継続して指定避難所となるのか。
**答弁**　現在検討中である。

## 中野市消防団活性化計画について

**質問**　小型消防車両の整備状況は。
**答弁**　軽トラックをベースとした資機材搬送車両を11台購入する計画で、既に5台の配備が完了している。残り6台については、12月下旬に配備が完了する。

## 空家等の対策について

**質問**　空家等の所有者を把握しているか。
**答弁**　法令に基づき登記・税務情報等を調査し、所有者の把握に努めている。
**質問**　危険な空家等への対応状況は。
**答弁**　市民等から相談・問い合わせがあった場合、市から所有者等に対し、必要な処置を取るよう指導している。
**質問**　移住希望者の短期滞在先として空き家を活用できないか。
**答弁**　実際に地域で生活してもらう体験は、重要なものと考えている。本市への移住者増加につなげる施策の一つとして研究していく。

## 農業振興について

**質問**　中野市農地マッチングシステムの課題は。
**答弁**　農地を借りる前に荒廃の程度等を知りたいとの意見がある。貸し手の方に対象農地の状況等をお聞きするなど情報収集に努めていく。
**質問**　新規就農者等に対して、農地、住宅、作業小屋、農業機械等を一括して支援する考えは。
**答弁**　「中野市遊休荒廃農地解消推進協議会」で関係機関が得た住宅、作業小屋、農機具の情報を農地とともにマッチングするシステムの構築を検討している。
**質問**　新規就農者研修圃場を確保しては。
**答弁**　考えていない。

その他の質問

## 高社小学校について

## 海外交流について

町田博文

**質問**　バラサミットにおいて、アメリカのポートランド市と連携交流していくこととなった。具体的にどのように交流していくのか。

**答弁**　現段階では、ポートランド市へメッセージが発信されたところである。バラサミットとして、バラによるまちづくりの交流をきっかけに、経済、文化、教育等の分野においても交流ができればと期待している。

**質問**　今年度から海外短期留学制度が創設され、中学生がオーストラリアのメルボルン市へ短期留学した。この短期留学制度は、これからも継続していくのか。

**答弁**　生徒が異文化に触れる良い機会となるので継続して実施していく。留学先は決定していない。

**質問**　近隣の中国、韓国との交流についてはどうか。

**答弁**　台湾を含めて、農産物を活用して企画や交流ができないかと考えている。

### 災害弱者対策について

**質問**　福祉避難所の指定状況、災害時受け入れ態勢の準備状況および訓練の実施状況は。

**答弁**　13の社会福祉施設を指定し、災害発生時における対応マニュアルを整備している。訓練の一つとして、平成31年2月に中野市社会福祉協議会ではボランティア実践講座を予定している。

**質問**　要支援者名簿の作成状況は。

**答弁**　本人の同意を得られた要介護認定3以上の方440人、障がいのある方等235人の名簿を作成している。なお、6カ月ごとに更新を行い区長、民生児童委員、社会福祉協議会、岳南広域消防本部および中野警察署において情報を共有している。

**質問**　要支援者の個別計画の策定状況は。

**答弁**　障がいのある方のうち特に優先順位が高い15人について、関係者間で協議を行い策定に努めている。

**質問**　指定避難所単位での運営委員会の設置および訓練状況はどうか。

**答弁**　平常時からの訓練が重要と考えており、避難所単位での運営委員会の設置を検討していく。

### 小学校統合による空き校舎の活用について

**質問**　どのように検討を進めていくのか。

**答弁**　現在、庁内で他の公共施設としての活用を検討しており、今年度中に方針を決定する。活用しないこととした学校は、市で保有せず公民連携による民間活力の活用を検討する。その際、サウンディング市場調査の手法を用いて民間事業者と対話をし進めていく。

その他の質問

**産官学連携について**
**小中学校及び保育所へのエアコン設置について**
**ランドセル・通学かばんの軽量化について**

（注）**サウンディング市場調査**
事業発案時や実施に向けた検討段階において、民間事業者との意見交換等を通し、事業に対する様々なアイデアや意見を把握する調査のこと。この調査を行うことで、新たなアイデアの収集、事業の実現可能性および課題を把握することができる。

## 文化行政について

中村明文

**質問**　新市民会館建設の検討状況は。また、今後の検討スケジュールは。

**答弁**　新市民会館建設については、平成27年に策定した「旧中野高校跡地利活用計画」に基づき、旧中野高校跡地を建設予定地としている。現在、庁内において基本的な方針の検討を行っている。庁内において十分な検討を行った後、市民の皆様のご意見をお聞きする機会を設ける。

**質問**　美術館建設の検討状況および今後の予定は。

**答弁**　美術館の建設については、美術品収蔵庫と一体の施設が望ましいと考え研究してきたが、多額の費用が見込まれるため現時点では考えていない。

**質問**　信州なかの音楽祭2018への市長の評価および来年度以降の開催予定は。

**答弁**　回数を重ねるごとに充実した内容となっており、本市の音楽文化の中核を担うイベントに発展している。今後も、実行委員会が新たな発想で主体的に運営する

事業と本市が輩出した多くの文化人に関する事業を織り交ぜて「中野市らしさ」を強く発信できるイベントとして、引き続き取り組んでいきたい。

**広域行政への市の考え方について**

**質問** 本市の広域行政の状況は。

**答弁** 各自治体の連携により北信広域連合等を組織し、一部行政事務を行っている。また、本市と飯山市が中心市となり北信6市町村で定住自立圏を形成し、事務事業の連携を進めている。

**質問** 自治体戦略2040構想研究会報告をどう評価しているか。

**答弁** 人口が減少する中、いわゆる行政のフルセット主義を維持することは、非常に困難であると考えている。新たな枠組みでの連携など実情にあった事業連携を研究していく。

**市職員の採用等について**

**質問** 市職員における障がい者の雇用率は。

**答弁** 本市の障がい者雇用率は2・62％であり、法定雇用率を満たしている。

**質問** 女性職員の管理職への登用状況は。

**答弁** 係長以上の女性職員の割合は11・5％である。今後も女性職員の人材育成、能力開発に努める。

（注）**フルセット主義**
文化、教育、福祉などの公共サービスを提供する際に必要となる施設等を全て1自治体で整備し、保有していこうとする考え方。

## 来年度予算編成方針について

髙木尚史

**質問** 予算編成の基礎となる実施計画における新規事業・臨時事業の計画は。

**答弁** 大きな変更点はないが、高社小学校、豊田小学校、（仮称）新長丘保育園の整備事業などを計画している。

**質問** 来年10月の消費税増税に伴う幼児教育無償化による市の負担増はどうか。

**答弁** 10月からの半年間で7千800万円と試算している。

**質問** 消費税増税による市民生活への影響はどうか。

**答弁** できる限り少なくなるよう配慮していきたい。

**指定管理者制度について**

**質問** 指定管理者制度を導入してから10年余を経過したが財政面の効果はどうか。

**答弁** 市民ニーズに効果的、効率的に対応している。

**質問** 全ての指定管理者の年度評価は、平成24年度と平成29年度の比較でA（良好）は22施設から6施設に、B（一部改善）は2施設から15施設に、C（要改善）は新たに2施設となり悪化しているが、その分析と改善への対応はどうか。

**答弁** 平成27年度に運用指針を改正したことに伴い、評価基準を厳しく見直したことから評価が下がっている施設もあるが、改善に向け指導している。

**質問** 指定管理委託料以外に施設整備費の高額な支出が見られる。その根拠と公平性を明確にすべきでは。

**答弁** 基本協定で大規模な修繕は市が、小破修繕は指定管理者が行うこととしているが、修繕内容によって個別に協議している。

**質問** デイサービスセンターうまし苑、つどい苑が譲渡され、屋内ゲートボール場や浜津ケ池公園市民センターが廃止となるが、今後の制度の見通しはどうか。

**答弁** 公共施設最適化計画の観点からも指定管理者制度は必要と考えており、毎年度、各施設への制度導入について検討している。

**有害鳥獣対策について**

**質問** 農地の有害鳥獣被害の状況はどうか。

**答弁** 有害鳥獣の主な被害額は、カラスが150万円、イノシシが54万余円、ツキノワグマが61万余円、ハクビシンが215万円となっている。

**質問** 住宅地にもハクビシンが出没しているが被害状況を把握しているか。

**答弁** 把握していない。

**質問** 住宅地におけるハクビシン被害の相談窓口を一本化すべきではないか。

**答弁** 相談内容によっては捕獲手続きなどが必要であり、被害防止の対応をしっかり行っていきたい。

## 市長の政治姿勢について

松野 繁男

**質問** 他の自治体の中には企画課や総合政策課を設けて、政策、イベント等の指揮命令系統を一本化しているところがある。本市でも参考にしては。

**答弁** 本市の場合、各部署から出された政策、イベント等の総合調整および指揮命令は、総合調整会議で行っている。新たな部署の設置は考えていない。

**質問** 中野市の「強み」は何か。その活用方法は。

**答弁** 本市の「強み」は、「豊かな農産物」、「高速交通網の充実」等と考えている。より一層「強み」を明確にし、積極的にアピールすることで、「住みよさで選ばれるまち」を目指す。

### 新市民会館建設について

**質問** 旧中野高校跡地に建設する方針に変更はないのか。また、規模はどの程度を想定しているのか。

**答弁** 建設場所については従来の方針と変わらない。規模は、過去の使用例等からみて、千人程度としたい。

**質問** 豊田文化センターは代替施設とならないか。

**答弁** 客席数が少ないことやステージの面積が現市民会館と比較し、狭いこと等から難しい。

### 保育行政について

**質問** 保育士不足の原因と今後の採用計画は。

**答弁** 3歳未満児等の入所増加により、必要な保育士数が増えていることや嘱託・臨時保育士を募集しても応募がないため保育士が不足している。今後は、退職者補充を基本としながらも適正な人員配置に努める。

### 豊田地域の放課後児童クラブについて

**質問** 設置場所の検討状況は。

**答弁** 小学校近くの公共施設または学校敷地内に設置することとし、現在、検討中である。豊井・永田放課後児童クラブ運営委員会に方針を示し、意見を聞いた後、設置場所を決定したい。

### 小中学校、保育所及び放課後児童クラブのエアコン設置について

**質問** 設置スケジュールは。

**答弁** 小中学校の普通教室には来年6月までに、保育所の保育室等には今年度中に設置する予定である。

**質問** 統合が予定されている小学校への対応は。

**答弁** 閉校となる小学校についても設置する。閉校後は他校に移設して活用する。

### 市道の除雪体制について

**質問** 国道から市道となった「市道笠倉奥手山線」について、除雪体制の強化を望む声があるが。

**答弁** 昨年度は、管理する道路延長が長距離であることから除雪と排雪作業を同時に行うことが困難であった。今後は、昨年度の状況を踏まえ業者と連携を密にし、除雪体制を強化する。

その他の質問

### 旧合併特例事業債について

## 子育て支援について

松樹 純子

**質問** 来年度の保育所入所希望児童の状況は。

**答弁** 今年度以上に3歳未満児の入所希望が増えている。保育士確保の状況によっては、受け入れできない児童が出てくることもある。

**質問** 保育士の確保策は。

**答弁** 保育士の処遇改善を行うとともに、保育士養成校との連携等を図り人材確保に努めるほか、潜在保育士の掘り起こしに努める。

**質問** 正規保育士の増員が必要ではないか。

**答弁** 退職者補充を基本としながらも、民間活力の導入など、効率的な保育サービスの提供方法を検討し、適正な人員配置に努める。

**質問** 放課後児童クラブ受益者負担の検討状況は。

**答弁** 本市の少子化対策および国の幼児教育無償化の検討状況などを考慮し、当分の間、受益者負担金は徴収しないこととした。

**質問** ファミリー・サポート・センター事業の利用時間単位を30分とし、また、利用できる子どもの年齢を拡大しては。

**答弁** 今年度実施予定のアンケート調査によりニーズ

を把握し、事業内容を検討していく。

**質問**　子ども福祉医療費の受給者負担金を無料にし、対象年齢を18歳まで拡大しては。

**答弁**　現状の制度を維持していきたい。

### ひとり暮らし高齢者等への支援について

**質問**　郊外に居住する高齢者のタクシー利用補助を拡充すべきではないか。

**答弁**　居住地区に応じた支援拡充は、利用者の目的地や頻度が様々であることから、現在考えていない。

**質問**　現行のバス、お出かけタクシーの利用が難しい高齢者が利用しやすいシステムを構築しては。

**答弁**　今後、より一層の高齢化の進展を踏まえ、研究していく。

**質問**　買い物弱者対策を講ずるべきでは。

**答弁**　他市のコンビニエンスストアの移動販売車運行が高齢者等に大変好評である。そうした先進地事例の情報提供を行うなど、商店等に働きかけをしたい。

**質問**　肺炎球菌ワクチンの定期接種への補助増額を。

**答弁**　このワクチンは、法令により個人の意思と責任で受けるものであり、助成額を増やすことは考えていない。

**質問**　帯状疱疹予防の水痘ワクチンに補助をしては。

**答弁**　予防接種法に規定がなく補助は考えていない。

### その他の質問

### 高校改革について

## スポーツ振興について

芦澤孝幸

**質問**　本年度は中野市スポーツ推進計画の最終年度に当たるが、基本目標の達成度は。

**答弁**　成人の週1回以上のスポーツ実施率は、目標65％程度に対して今年度調査では35・8％、総合型地域スポーツクラブ会員数は、目標1千80人に対して昨年度末現在で327人などであり、6つの基本目標は全て未達成の見込みである。

**質問**　市内には2つの総合型スポーツクラブが設立されているが、行政の関わり方とクラブへの支援をどのように考えているか。

**答弁**　現在、県が設立している連絡協議会に両クラブと共に参画し、他市町村のクラブと情報交換を行っている。市では、両クラブに対して、活動のための施設確保等行っているが、今後とも持続的に地域スポーツの担い手としての役割を果たしていくことができるよう、クラブの質的な充実に重点を置き支援を行っていく。

### 中心市街地の活性化について

**質問**　中心市街地の空き店舗数と店舗改修等支援事業補助金の利用状況は。

**答弁**　平成27年度の調査における空き店舗数は、50店舗である。昨年度の補助金の利用状況は、3件で補助金額は157万9千円である。

**質問**　今後の取り組みは。

**答弁**　空き店舗の現状把握や情報提供、相談業務を行うなど、出店希望者の自助努力への支援を充実させていく。

## 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。
インターネット録画中継は、パソコンをお持ちの方は、いつでも本会議の模様を視聴することができます。是非、ご覧ください。

**視聴方法**　中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス
（パソコンのみ閲覧可能です。）

**中野市議会ホームページ**　http://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/

**配信している議会中継**　平成28年5月市議会臨時会分～

**配信時期**　定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。

## 公共施設の効率的な利活用について

髙野良之

**質問**　公共施設の延べ床面積を20％削減する基準は。

**答弁**　平成28年4月に策定した「中野市公共施設等総合管理計画」において、公共施設の縮減目標を定めている。施設類型ごとの基本的な方針に基づき転用、譲渡、集約化等について検討している。

**質問**　豊田地域における小学校統合後の空き校舎の利活用の検討状況は。

**答弁**　他の公共施設としての活用を検討しており、今年度中に方針を決定する。検討に当たっては、各段階において、統合準備委員会をはじめ市民の意見を聞きながら進める。

**質問**　豊田支所の効率的な利活用の検討状況は。

**答弁**　豊田支所の建物は、「中野市公共施設等総合管理計画」において「現状維持」としている。豊田支所は事務室として効率的な利活用を考えている。

### 指定管理者制度について

**質問**　中野市豊田温泉公園の指定管理者が公募され、2者から応募があった。指定管理候補者としての要件等を審査した結果、1位が㈱ユアーズ静岡、2位が㈱斑尾となった。㈱斑尾に対する今後の対応は。

**答弁**　今後の対応は、従前のとおりと考えている。

**質問**　中野市豊田農産物加工施設の指定管理者の選定方法と選定結果は。

**答弁**　現在、指定管理者である中野市豊田農産物加工施設組合と施設譲渡について検討を進めており、設立時からの経過を踏まえ、引き続き非公募により指定管理者の候補者としている。

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案4件、予算案2件、意見書案2件について、12月11日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市市税条例等の一部を改正する条例案で、地方税法の改正に伴い、法人市民税の法人税割の税率の引き下げおよび軽自動車税の環境性能割の導入を行うため、所要の改正を行うもので、原案どおり可決されました。

予算案では、平成30年度中野市一般会計補正予算（第3号）について、補正総額6億7千680万5千円を追加するもので、補正後の予算総額は、216億9千407万4千円となるものです。

歳入では、国庫支出金2億1千909万9千円の増額、市債3億9千530万円の増額などです。歳出のうち教育費では、小中学校全教室へのエアコン設置を行うための小学校維持整備事業費3億4千272万円の増額、中学校維持整備事業費2億349万円の増額などであり原案どおり可決されました。

意見書では、教育の無償化・負担軽減に関する意見書については、内容に必要な修正を加え修正可決し、2019年10月の消費税増税中止を求める意見書については、原案どおり可決されました。

そのほかの条例案3件、予算案1件については、原案どおり可決されました。

## 市議会を傍聴しませんか

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。

市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。

聴覚に障害のある方には、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いたします。音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

**傍聴等に関するお問い合わせ先**

電話　（22）2111（内線316）

FAX　（22）5922

Eメール　gikai@city.nakano.nagano.jp

# 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案2件、予算案6件、事件案8件、陳情1件について、12月11日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市屋内ゲートボール場条例を廃止する条例案で、中野市屋内ゲートボール場を平成31年3月31日をもって廃止するため、本条例を廃止するもので、原案どおり可決されました。

予算案では、平成30年度中野市一般会計補正予算（第3号）について、民生費の自立支援事業費では、各給付事業が増加したため、8千634万2千円の増額、放課後児童クラブ管理事業費では、放課後児童クラブへエアコン設置を行うため545万2千円の増額、保育所維持整備事業費では、保育所へのエアコン設置および（仮称）新平岡保育園建設工事を行うため8千483万円の増額などであり原案どおり可決されました。

事件案では、財産（土地及び建物）の無償譲渡についての2議案について、中野市デイサービスセンターうまし苑を社会福祉法人高水福祉会に、中野市デイサービスセンターつどい苑を社会福祉法人敬老園にそれぞれ無償譲渡するものであり、原案どおり可決されました。

陳情につきましては、原案どおり採択され、陳情趣旨を踏まえた意見書を委員会として提出しました。

そのほかの条例案1件、予算案5件、事件案6件については、原案どおり可決されました。

# 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案1件、予算案6件、事件案13件について、12月11日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市浜津ケ池公園市民センター条例を廃止する条例案で、同市民センターを平成31年3月31日をもって廃止するため、本条例を廃止するもので、原案どおり可決されました。

予算案では、平成30年度中野市一般会計補正予算（第3号）について、農林水産業費の担い手育成支援事業費300万円の増額、地域バイオマス産業化推進事業費281万1千円の増額などであり、原案どおり可決されました。

そのほかの予算案5件、事件案13件については、原案どおり可決されました。

# ■意見書

## 〈可決された意見書〉

（関係行政庁に提出）

### 教育の無償化・負担軽減に関する意見書

少子高齢化や人口減少の急速な進行は、社会の発展に必要な活力を減退させ、将来の国民生活に深刻な影響をもたらすこととなるため、安心して子どもを産み育てる環境整備が重要な課題となっている。一方、次代を担う若い世代に非正規雇用者が増える中、子育て中の世代に幼児教育・高等教育にかかる負担が大きく、この経済的な問題が少子化の大きな原因の一つともなっている。

憲法においては、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。」と定められている。

また、貧困の連鎖を断ち切り格差固定化の防止や少子化対策を目的とした教育制度の充実化は社会の発展にとって有益である。

こうした観点から、教育の無償化・負担軽減については、国の責任において必要な財源を確保し実施すべきである。

よって、中野市議会は、国に対し、下記事項の実施を強く要望するものである。

記

1　3歳から5歳までの全ての子どもについての幼稚園、保育所、認定こども園の費用を無償化する「幼児教育の無償化」の制度の詳細を検討するに当たっては、システム改修等の地方公共団体における実務への影響も踏まえ、制度の円滑な運用が可能となるよう、地方の意見を十分に踏まえること。あわせて、国の責任において所要の財源を確保すること。また、保育需要増加への対応や処遇改善等による保育士の安定的確保等の必要な措置についても、国の責任において所要の財源を確保すること

2　子ども・子育て支援のさらなる「質の向上」を図るため、国の責任において所要の財源を確保すること

3　「高等教育の無償化」について、大学、短期大学、高等専門学校及び専門学校について、対象者を限定することのない普遍的な制度を創設するとともに、学問・研究の自由への侵害や大学の自治への介入とならないようにすること。地方公共団体を通じて実施する場合には、制度の円滑な運用が可能となるよう、地方の意見を十分に踏まえること

4　「私立高校の授業料の実質無償化」の制度の詳細を検討するに当たっては、制度の円滑な運用が可能となるよう、地方の意見を十分に踏まえること。あわせて、国の責任において所要の財源を確保すること

## 2019年10月の消費税増税中止を求める意見書

現在、日本は少子高齢化・人口減少社会が進行し、国民の暮らしや地域社会は大変深刻な状況となっている。年金カット、医療・介護などの社会保障費の負担増、物価上昇などによる苦しい家計状況のもと、国民からは「これ以上節約するところがない」と悲鳴が上がっている。2014年に消費税が8％に増税された際には、戦後初めて2年連続で個人消費がマイナスとなり、以後、今日に至るまで個人消費が回復しない状況も続いている。

このような状況下においても、政府は2019年10月に消費税率を10％に引き上げる姿勢を崩していない。この引き上げは、「軽減税率」分を差し引いても4.6兆円の増税となり、1世帯当たり8万円の負担増という試算もある。国民の暮らしが厳しい状況において、消費税率を10％に引き上げることは、5％から8％に引き上げたときと同様、大不況を招く恐れさえある。

加えて、消費税率引き上げと同時に導入される「軽減税率」は、大きな問題を抱えている。飲食料品と週2回以上発行される新聞には「軽減税率」が適用され税率が8％に据え置かれるが、輸送費や加工費、広告宣伝費などは10％に引き上げる予定であるなど軽減税率の適用範囲は複雑であり、その線引きは単純ではない。また、事業者にとってこの複数税率に対応するための負担はとても重く、更に2023年に導入される「インボイス制度（適格請求書保存方式）」は地域経済を担う中小事業者にとって大きな負担となり、加えて免税業者が商取引から排除されるという重大な問題もある。

そもそも消費税は、所得の少ない者ほど負担が重く、貧困と格差の拡大をもたらす根本的欠陥を持つ税制であり、日本国憲法が要請する応能負担の原則に則った税制の確立に反していると言わざるを得ない。

消費税を増税するのではなく、税金の集め方、使い方を見直し、大企業や富裕層を優遇する不公平税制こそを正し、暮らしや社会保障、地域経済の振興に優先的に税金を使い、内需主導で家計を温める経済政策を施し、社会保障制度の拡充や財政再建の道を切り開くべきである。

よって、中野市議会は、国に対し、住民の暮らし及び地域経済に深刻な打撃を与え、また、地方自治体に影響を及ぼす2019年10月の消費税率10％への引き上げの中止を強く要望するものである。

## 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書について

医療や介護現場での人手不足はいまだに深刻な状態にある。人手不足により一人一人の過重労働が進み、過酷な夜勤や長時間労働などが解消されずに、医師や看護師の過労死を引き起こす事態が続いている。厚生労働省も、医療職場や介護職場の勤務環境改善の必要性を明らかにし、手だてを講じてはいるが具体的な労働環境の改善には至っていない。

日本医療労働組合連合会が行った「2017年度夜勤実態調査」では、2交替勤務病棟のうち16時間以上の長時間夜勤の割合は43・1％、勤務と勤務の間隔が極端に短い8時間未満の病棟の割合が49・0％であった。また、介護現場では長時間夜勤の割合はさらに高く、小規模施設では1人体制の夜勤が恒常的に行われている。このような過酷な夜勤実態の背景には、慢性的な人手不足がある。

また、同連合会が行っ

た「２０１７年看護職員の労働実態調査」では、慢性疲労を抱えている看護師が71・7％、健康不安の訴えが67・5％、そして、「仕事を辞めたい」と思いながら働いている看護師が74・9％で、その理由としては「人手不足で仕事がきつい」が47・7％と最も多くなっている。

働き方改革関連法案の成立により労働時間に関する規制が図られるなど労働環境については一定の改善が図られたが、医療現場の実情を踏まえた実効ある対策は、猶予できない喫緊の課題であり、２００７年に国会で採択された請願内容（夜間は患者10人に1人以上、昼間は患者4人に1人以上など看護職員配置基準の抜本改善、夜勤の月8日以内の規制など）の早期実施が求められる。

そしてまた、国民誰もが安心して医療・介護を利用するためには、保険料や一部負担金の負担軽減も必要である。

よって、中野市議会は、国に対し、安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善のため、下記事項の実施を強く要望するものである。

記

1　医師、看護師、医療技術職員、介護職員などの夜勤交替制労働における労働環境を次のとおり改善すること

(1)　1日かつ1勤務の労働時間8時間以内を理想とし、勤務間のインターバル確保、夜勤回数の制限などについては、医療現場等の実情に配慮した指針を作成すること

(2)　夜勤交替制労働者の週労働時間を短縮すること

(3)　介護施設や有床診療所などで行われている「1人夜勤体制」をなくし、「複数夜勤体制」とすること

2　安全・安心の医療・介護を実現するため、医師、看護師、医療技術職員及び介護職員を増員すること

3　国民誰もが安心して医療・介護を利用できるよう患者及び利用者の負担軽減を図ること

# 行政視察報告

## 総務文教委員会

総務文教委員会は、10月22日～24日の3日間、島根県松江市、鳥取県鳥取市、八頭町を視察しました。

松江市では、「学校図書館活用教育について」、鳥取市では、「シティプロモーションの取り組みについて」、「わらべ館の施設等について」、八頭町では、「隼lab（はやぶさラボ）について」、それぞれ市役所担当課および運営会社から説明を受け視察しました。

## 民生環境委員会

民生環境委員会は、10月31日および11月1日の2日間、福島県郡山市、栃木県日光市を視察しました。

郡山市では、「郡山市こども総合支援センター事業について」、日光市では、「子育て支援について」、それぞれ市役所担当課から説明を受け視察しました。

経済建設委員会は、10月16日～18日の3日間、宮崎県延岡市、新富町、都城市を視察しました。

## 経済建設委員会

延岡市では、「東九州バスク化構想について」、新富町では、「地域づくりへの取り組みについて」、都城市では、「中心市街地中核施設「Ｍａｌｌｍａｌｌ」について」、それぞれ市役所担当課および運営会社から説明を受け視察しました。

12月市議会定例会では多くの議員が行政視察の成果を踏まえ市政一般質問を行いました。

今後も行政視察の成果を議会活動に生かして参ります。

## 北茨城市議会　来訪

姉妹都市である中野市と北茨城市の両市議会では、2年に1回、交互にそれぞれの市を訪問し交流を深めています。

本年は、11月12日および13日の両日、北茨城市議会議員の皆さんが本市を訪問されました。

12日は、本年2月に開庁した新庁舎を視察されました。

新庁舎議場視察

翌13日は、中野土人形をはじめ全国の土人形約2千点を収蔵する日本土人形資料館、童謡唱歌100周年を迎え、改めて注目を集める中山晋平記念館を視察していただきました。

北茨城市議会議員の皆さんに改めて本市の魅力をお伝えするとともに、両議会の交流が深まった二日間となりました。

日本土人形館視察

## 表紙の写真

今年は、十二支最後の年「亥年」です。

亥年は、これから始まる成長に備える準備期間の年、また、猪の肉は栄養価が高く病気予防になることから無病息災を意味する年と言われることがあるようです。

日本土人形資料館では、表紙の写真「亥乗り天神」、「猪」のほか干支にまつわる土人形の展示や土鈴の販売をされています。

愛らしい土人形たちに会うため、日本土人形資料館に足を運ばれてはいかがでしょうか。

## 第5代前期 議会だより 編集委員名簿

（順不同）

| | | |
|---|---|---|
| 委員長 | 芦澤 | 孝幸 |
| 副委員長 | 松野 | 繁男 |
| 委員 | 松樹 | 純子 |
| 〃 | 中村 | 秀人 |
| 〃 | 中村 | 明文 |
| 〃 | 宇塚 | 千晶 |
| 〃 | 青木 | 正道 |
| 〃 | 永沢 | 清生 |
| 〃 | 髙野 | 良之 |
| 〃 | 町田 | 博文 |

## あとがき

日本漢字能力検定協会が発表した、昨年一年の世相を表す漢字は、応募総数約20万票の約一割を獲得した「災」でした。

この文字のとおり、昨年は北海道胆振東部地震、西日本豪雨、台風第21号、第24号による被害、そして記録的な猛暑など、多くの自然災害が記憶に残る一年ではなかったでしょうか。

本市においては、昨年、災害時等の危機管理にも十分配慮された新庁舎が完成しました。万が一の災害の際にも万全の体制で対応できるものと思います。

まもなくすると「平成」が終わり新元号の下、新しい時代が幕を開けます。皆さんにとって、今年の漢字一文字となって欲しい「幸」多き年となりますことを願っております。